

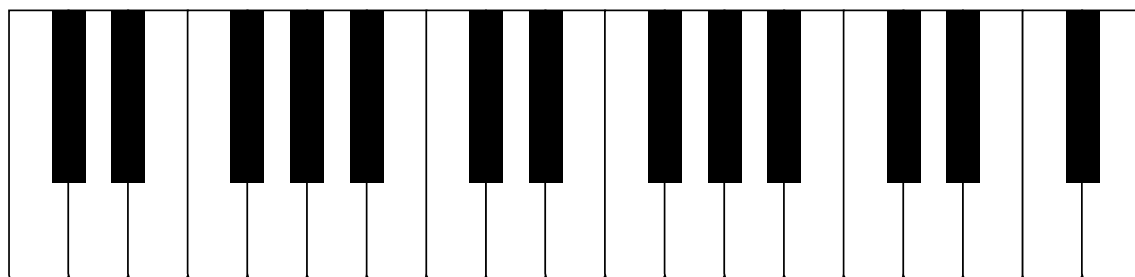
〈課題2〉音楽に関わる課題（必修）

■テーマ「音の名前を覚えよう」

音楽で使う「音の名前」ってわかりますか？

「ド・レ・ミ…」なら知ってる、っていう人は多いでしょうね。

それも確かに音に名前を付けたものですが、「ド・レ・ミ…」は「階名」といって、長調や短調などの、音楽をするときに使う音の階段を上がっていくときの1つ1つのステップに名前を付けて読んでいるものです。だから、下のようにピアノの鍵盤の音の名前という、別に名前を付ける必要があるのです。

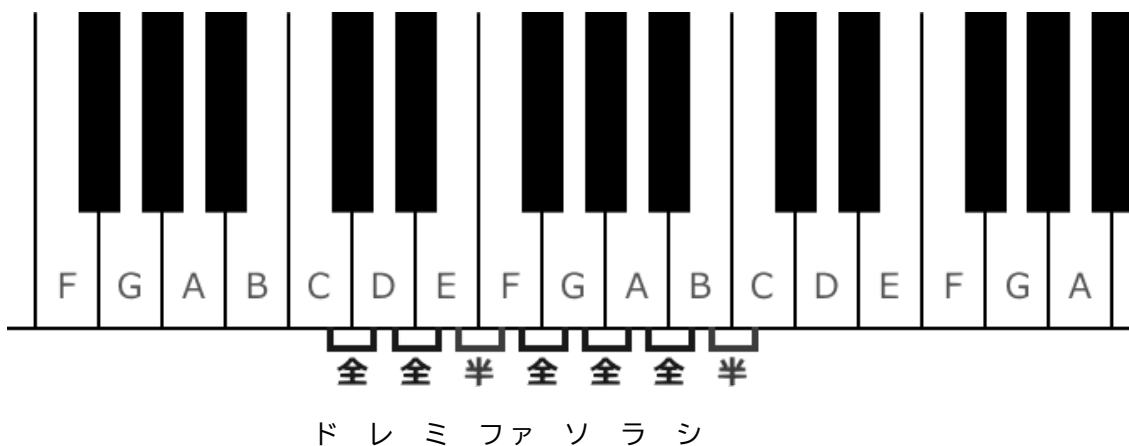


ピアノの鍵盤は、白い鍵盤で7つごとの繰り返しになっているのはわかりますね。その7つの音に名前がついているのですが、それは国ごとに違っているのです。

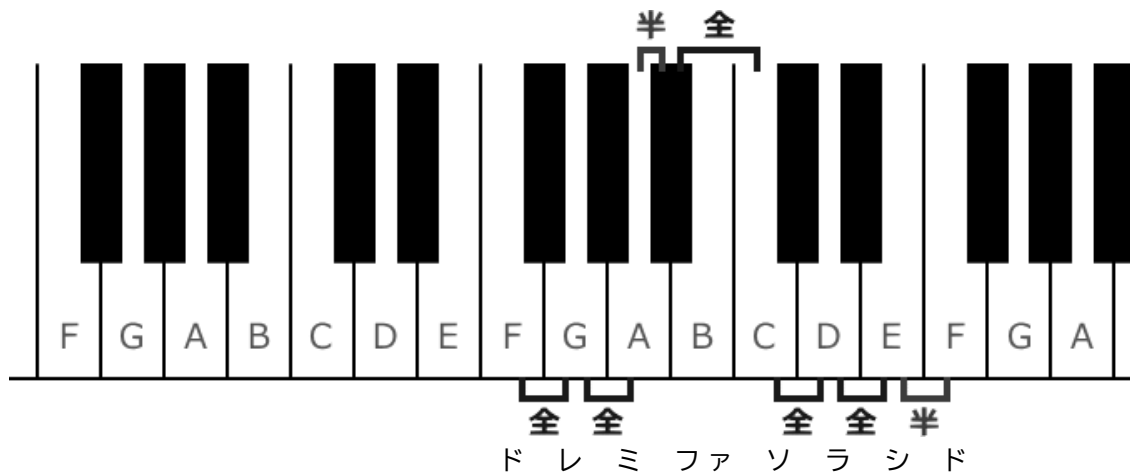
これから子ども発達学科で勉強してもらう皆さんには、英語の音の名前(これからは「音名」といいます)を使うのが一番便利だと思うので、それを覚えてもらいましょう。

英語の音名は、アルファベットの最初の7文字、すなわち ABCDEFG を当てはめて使います。

上の鍵盤図の★のところが A になり、そこから右に向かって ABCDEFG が繰り返されていきます。



ピアノ等の鍵盤は、白黒に関係なく隣同士は等間隔になっていて、1つが「半音」2つで「全音」と呼んでいます。白鍵同士を見ていくと、間に黒鍵のないところが半音ということになります。「ドレミファソラシド」の長音階は、ミとファのあいだとシとドのあいだ半音になっています。上図のように、白い鍵盤だけで弾ける長音階は、C の音が「ド」になっているので、C Major(シー・メイジャー)あるいは「ハ長調」と呼んでいます。



黒鍵を使って半音の場所を変えれば、どこからでも長音階を始められます。上の図は F Major(ヘ長調)の例です。「音名」と「階名」の違いは分かりましたか？半音上げた音には sharp(#シャープ)半音下げた音には flat(♭フラット)がつくことは皆さんご存知のことと思います。A と B のあいだの黒鍵は、ここでは A#ではなく B♭です。どうしてだかわかりますね。

ハ長調やヘ長調というときの、「ハ」や「ヘ」も実は音名なのです。日本語の音名は「ABC…」を「イロハ…」に置き換えたものです。小中学校の教科書では、この日本語の音名が使われています。

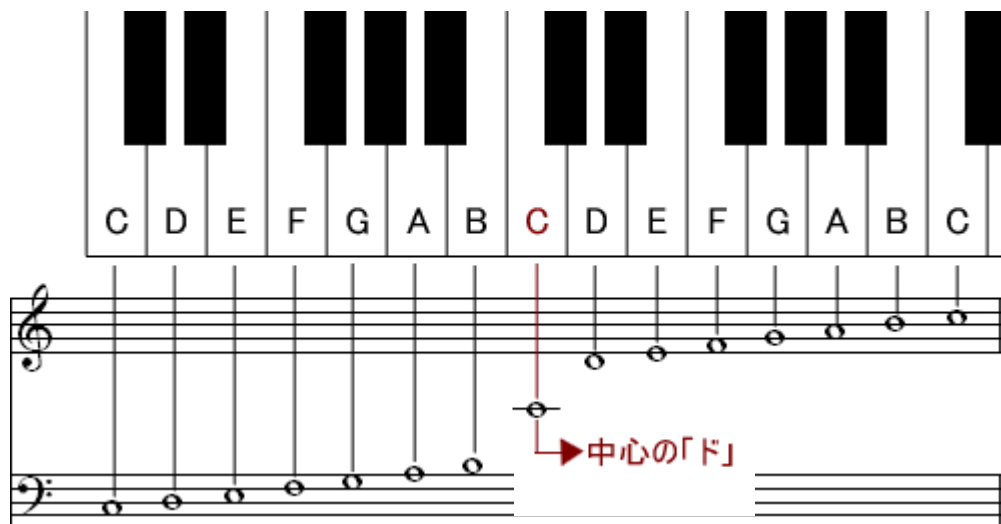
下の表が、各国の音名の対照表です。

英語	A	B	C	D	E	F	G
日本語	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
ドイツ語	A	H	C	D	E	F	G
イタリア語	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si
フランス語	Ut	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si

この表を見て気づくように、イタリア語やフランス語には「音名」と「階名」の区別がありません。不便なので、ドイツ音名(クラシック系)や英語音名(ポップス系)を使う人も少なくありません。

保育の現場では、英語のコードネームのついた歌の楽譜を使う機会が少なくないので(練習問題の「きらきら星」の楽譜についています)、みなさんには、英語で音名を覚えてもらいたいです。

最後に、ピアノの鍵盤と五線譜と音名の関係を示しておきます。ほかの鍵盤楽器は必ずしもそう
はいませんが、ピアノは、一番左の音が、ちゃんとAの音から始まっているので是非一度、実際に見て確認
してください。



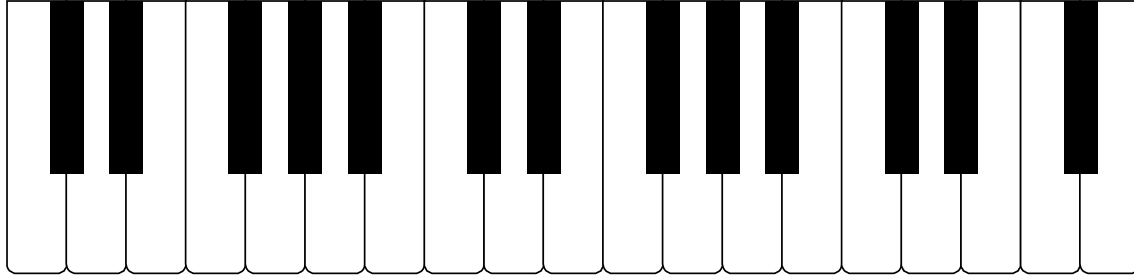
ト音記号の「ト」はGの音のこと、英語ではG clef、ヘ音記号も同様に「ヘ」がFの音のことで、それぞれの記号の書き出しの線の音名を表しているのです。よく見るとそれぞれの記号の中に、Gの文字Fの文字が見えてきませんか。

以上、英語音名のことわかりましたか。何度か読み返して、よく理解できたら、次の練習問題に挑戦してみてください。

■練習問題

氏名()

1 鍵盤上の各音の英語音名を書きましょう。



↑ ↑ ↑ ↑ ↑

① ② ③ ④ ⑤

①	②	③	④	⑤

2 次の楽譜の矢印のついた音の英語音名を書きましょう。

きらきら星

作詞 武鹿 悦子
フランス民謡

♩ = 80

きらきらひかる おそらのほしよ

① ② ③ ④ ⑤

①	②	③	④	⑤

<提出方法>

- ・ このページを印刷して回答を書き入れます。
- ・ 回答した用紙は他の課題と一緒に一つの封筒に入れて郵送してください。